



児童の「非認知能力」を高めていきます

5月13日（火）に、島須地区環境保全協会の皆様の協力で、3年生が田植え体験をしました。子どもたちはぬかるみで歩きづらさを感じつつも、苗の植え方を教えてもらいながら楽しく苗を植えていました。子どもたちの振り返りの中には、「初めてお米を作る人の苦勞を知りました。これから、作ってくれた人たちにありがとうの気持ちで食べたいと思いました。」「こんなに大変だと思いませんでした。お米を作っている人への感謝でいっぱいです。」等、田植え体験を通して、米作りをしている人への感謝を伝える感想がたくさんありました。

また、6月1日（日）には「狙うは勝利 心を燃やして笑顔と勝利を掴み取れ！！」のスローガンのもと、運動会が行われました。よりよい運動会にしようとする児童の姿、一所懸命に競技に取り組む児童の姿、たくさんの笑顔あふれる児童の姿を見ることができました。

児童の振り返りを紹介します。

- ・1年生児童「たくさんの人がいて、カメラをもっている人もたくさんいて、ちょっとだけ恥ずかしかったです。みんなと力を合わせて、玉入れをして楽しかったです。」
- ・2年生児童「私が、一番がんばったことは、徒競走です。1位は取れなかったけど、自分でもがんばってやりきったと思いました。来年もがんばりたいです。」
- ・3年生児童「運動会は楽しかった。徒競走で3位になりました。大玉を転がすとき外側に転がすのが難しかったです。家に帰ったらお父さんが『ソーラン節を踊っているのを見て感動した。お母さんも、感動して泣きそうだった。』と言っていました。とてもうれしかったです。」
- ・4年生児童「私が今年の運動会で心に残ったことはたくさんありますが、悔しかったことはあまりありません。運動会を楽しみながら練習でがんばったことを発揮することができたので、心がはずむようでうれしいです。練習をがんばった自分をほめてあげたいです。どうしてかという、帰ってから見に来てくれた家族にすごくほめられたからです。来年もこのような最高な運動会にしたいです。」
- ・5年生児童「初めての応援団できちんと声を出して活動できた。ダンスでは笑顔で踊れたからよかった。来年は牛堀小のみんなを今の5年生でひっぱっていきたいと思います。また、いろいろな競技で、クラスメイトの『仲』を深めて、楽しい運動会にしたいです。」
- ・6年生児童「ぼくにとって今年の運動会は最高でした。悔しかったこと楽しかったことがたくさんありました。悔しかったことは、家族みんなの意見を合わせて作ったポスターがトップと2票差で選ばれなかったこと、本気で走ったのにリレーの選手になれなかったこと、徒競走で2位だったことです。楽しかったことは、借り人で友達のお母さんと一緒に走ったこと、2年連続で行った出発係、そしてダンスです。特に、ダンスは振りも間違えないでできたし、5・6年生で協力して創ったウェーブもきれいにできました。みんなで考えた最後の決めポーズも最高でした。中学校では、リレーの選手に選ばれるよう、がんばりたいです。」

さて、新年度がスタートして2ヶ月が経ちました。ここまで様々な教育活動を通して、子どもたちの成長を感じています。それは、子どもたちが、授業や学校行事後に行う振り返りから感じとることが出来ます。子どもたちは、振り返りによって、自分の「非認知能力」を見える化しています。今年度本校では、子どもたちの「非認知能力」をより高めていきたいと考えています。「非認知能力」とは、意欲や協調性、忍耐力、自制心、好奇心など、一般知能（IQ）とは異なる、数値では計り知れない能力のことです。非認知能力を高めるには、様々な経験を積み重ねることだといわれています。家庭や学校、その他すべての様々な経験を通して子どもたちに身に付く能力ともいわれています。子どもたちには、多様な経験をし、成功や失敗を繰り返しながら、自分の「非認知能力」を高めていってほしいと思います。また、保護者の皆様、地域の皆様と一体となって、子どもたちの「非認知能力」を高めていきたいと考えています。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

